

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	「お茶の京都」を支える茶産業等振興プロジェクト		実施期間	平成28年度～	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の茶生産は府内でも多くのシェアを占めており、碾茶や玉露といった高級品が中心であることが特徴となっているが、近年は、経営面積の減少や茶価の低迷などにより、茶産業が衰退してきており、生産基盤を強化することが求められている。</p> <p>また、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、急峻な地形にある茶園が荒廃化する傾向にあり、乗用摘採機に対応した茶園に整備していくことが急務となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>優良茶園の整備や施設整備などへの支援による茶の生産性や品質の向上、ブランド化のほか、茶産業の後継者育成を図るための取り組みに対して積極的な支援を行うことにより、お茶の生産基盤の強化と高付加価値化を図った。</p>							
	総事業費（千円）	7,224	本年度事業費（千円）	7,224	交付金額（千円）	3,000		
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	出品茶対策協議会助成金	交付対象事業	宇治田原茶ブランド確立のため、各種品評会への出品促進に取り組む団体に対する支援を実施。			○出品茶対策協議会への助成を実施。		
	茶品評会事業	交付対象事業	茶生産農家に全国及び関西茶品評会への参加を促し、宇治田原茶の名声を高める。			○全国及び関西茶品評会へ出品する茶農家への支援を実施。 ・ 出品点数 36点		
	農林業振興事業補助金	交付対象事業	農林業の振興を図るため、農林業共同施設、共同化、近代化等に係る事業に対して補助を行う。			○農林業振興事業費補助金 ・ 機械類 4件 ・ 防霜ファン整備 2件 88.7a 他1件		
	町単費土地改良事業補助金	交付対象事業	農業の生産性向上を図るために行われる農業用施設の改良事業に対し補助を行う。			○土地改良事業に対する補助金。 ・ 補助件数 9件		
	優良茶園振興事業補助金	関連事業	組織的な生産体制の強化や伝統的な景観の継承、商品価値の高い良質茶生産の推進等に対する補助。			○農業合理化近代化促進事業に対する助成。 ・ 件数 2件		
	大福茶園再造成事業	関連事業	宇治茶の生産振興を図るため、湯屋谷地区大福集団茶園の再造成を行う。			平成28年度から施工された湯屋谷地区大福集団茶園の造成工事（植栽面積10.6ha）の防災工事を実施。		
住民 協働 事業	観光まちづくり促進事業	関連事業	地方創生推進交付金を活用し、観光基盤の整備及び観光情報発信の充実に向けた取組を実施。			観光振興計画の推進及び観光によるまちづくりの実現を図るため、観光振興計画に掲げる「観光の基盤整備」や「観光情報発信」の充実に向け、主要観光施設の整備や観光ポータルサイト構築に向けた取り組みを実施。		
	日本緑茶発祥のまち魅力発信加速化事業	関連事業	宇治田原茶を広くPRし、良質茶生産の振興と発展を図るため、茶どころ宇治田原を町内外に発信する。			○転入者記念品プレゼント事業 89件 ○町観光パンフレットの作成 2,000部 ○ふるさとまつり実行委員会への助成		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

	「お茶の京都」交流拠点整備等加速化事業	関連事業	「お茶の京都」事業に係る本町の戦略的交流拠点である湯屋谷地区の拠点整備等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○駐車場の整備 湯屋谷会館横空地进行を宗円生家の駐車場として整備。 ○やんたん散策マップ作成 茶畑や宗円生家など日本遺産を巡るマップ作成。 ○PRビデオ作成 ○お茶の京都DMO設立 	
成果指標①	成果指標の目標数値	農林業振興事業費補助金交付件数：4件		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	農林業振興事業費補助金交付件数：7件(平成28年度)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	制度周知の徹底や、制度利用に対するニーズをPRするなどにより、目標数値を上回った。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	全国・関西茶品評会出品点数：30点		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	全国・関西茶品評会出品点数：36点(平成28年度)
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	関西茶品評会が平成28年度では京都府開催であったため、生産者でも出点に対する機運が高まったものと思われる。関西茶品評会では農林水産大臣賞及び産地賞を受賞し、宇治田原茶の振興につながった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	本町のまちづくりの基幹ともいえる茶産業について、大福茶園の再造成を行うなど、ハード面での充実は図れているところである。茶品評会においても好成績をおさめており、宇治田原茶の名声を高めてきている。今後はさらなるブランド化を図るとともに、茶産業全体としての魅力を発信する事業が求められる。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	国の地方創生推進交付金を活用した事業と府のみらい戦略一括交付金を活用した事業、と単独事業を組み合わせ、一つのプロジェクトそちえ一体的に推進することで、目標達成に近づくことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	平成29年度の「お茶の京都」ターゲットイヤーに向けて、京都府をはじめ近隣市町村との連携の強化が図られている。			
	住民の自治意識を高める成果				
	リーディング・モデル成果				
	広域的波及成果				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：宇治田原町

	行財政改革に資する成果	産業の振興を図ることで、法人税や住民税などの税収の増加に繋がる。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。